



Southern Cross



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



2023 No.9

12月1日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: toiwase@jsp.wa.edu.au

「日々実践する国際交流 ～CBPSとの交流～」

校長 寺本 喜和

本校は世界中の日本人学校の中でも珍しい教育環境にあります。それは、現地校である City Beach Primary School (CBPS) と敷地や校舎を共用し日常的に互いの教育活動を行っている点です。

既に皆様方をご存知だとは思いますが年間を通して、様々な場面でJSPの子どもたちとCBPSの子どもたちが共に学習活動を行っています。過日行われたアスレチックカーニバルや、オープンナイトでの互いの活動への参加、オープンナイトの翌日に本校児童生徒がCBPSのY6の子どもたちを招待した交流活動などがありました。逆にCBPSの児童が日本語の授業で学んだ絵本の読み聞かせをJSPの児童に向けて行ってくれるなど、双方向の交流活動が少しずつ進んでいます。

10月27日に行われたミュージックアッセンブリーでは、会の冒頭に日本国歌とオーストラリア国歌を両校で歌う場面がありました。私がJSPで勤務していた20年前には隣接する小学校と行っていた朝会で、両国の国歌を歌った経験がありました。ですから、昨年本校に校長として着任して以来、そのような機会がないことに、少々残念な思いをもっていました。今回はそれが実現されました。JSPの子どもたちは、今までも機会があるごとにオーストラリア国歌を歌ってききましたが、今回、CBPSの児童も共に日本国歌を歌ってくれる様子があり、うれしく思いました。その後CBPSのクワイヤー（コーラス）とJSP全校生で、英語と先住民の言葉で二部合唱を披露しました。また、学習発表会でも発表した「クラッピングファンタジー」について、中学部の生徒が英語と日本語で紹介する場面もありました。これらの場面はとても感動的でした。両校の児童生徒が、ひとつのもの・ことに取り組み、力を合わせる経験を積むことは、彼らが将来大人になっても、互いに他国の文化や人々に敬意をもち、互いに尊重する心情を育てていると考えています。

アッセンブリーの最後、CBPSのマリ校長先生からのメッセージでは、JSPとCBPSが同じ敷地で同じ校舎で互いに学ぶことは、オーストラリアと日本のそれぞれの文化、考えの違いを越え、互いに尊敬しあう、学び合うという点で大変価値のあることであり、この素晴らしい環境を大切にしていきたいと思いますというお言葉をいただきました。

また、本校の3年生以上の授業で英語科の先生方が行っているAU学習の授業があります。AU学習では、その名の通り、オーストラリアの社会、文化、歴史、自然などについて学びます。この学習は、オーストラリアにある本校だからこそできる学習です。オーストラリアについて理解を深めることは、国際交流の基礎となり、「グローバルな視点をもった人材」を育てる本校の目標に結び付く大切な学習となっています。

ニュースでは、11月に東京で「アジア・プロ野球チャンピオンシップ」が行われ、日本、オーストラリア、韓国、台湾の4チームが熱戦を繰り広げたことを知りました。大会は日本の優勝で幕を閉じましたが、残念ながら4位に終わったオーストラリアチームへの日本人の大声援が話題になっています。昨年のWBC大会以来、オーストラリアチームへの日本の野球ファンの応援はすごいものがあります。オーストラリアの選手の一生懸命さと日本への敬意が人々の心をとらえたと思います。このことにも象徴されるように、日本とオーストラリアはとても素晴らしい関係を築いており、私たちのJSPもそんな両国の関係に支えられ、育てられていると思います。

日々の教育活動に、「国際交流」の視点で取り組むことをこれからも大切にしていきます。



学習発表会 ～ フレンドシップ 友情を今！一つに… ～

11日（土）の学習発表会では、たくさんの拍手をありがとうございました。来場者の皆さんの温かい反応に、子ども達も勇気をいただき、リハーサルの時よりも楽しんで伸び伸びと発表することができました。学習発表会を通して学んだことを自信に変えて、これからの学校生活に活かしていきたいと思います。

全校生による英語科の発表

3年生&4年生

1年生&2年生

5年生&6年生

中学部

全校生による合唱

JSP学習発表会

在パース日本国総領事館 総領事 内藤 康司様のご挨拶

昨年は岸田総理パース訪問の直後の学習発表会でしたが、今年は全日空の東京・成田直行便再開という嬉しい進展がありました。今後、日本と西豪州の人の往来が増え、人の交流が一層活発になることと思います。同時に、困難はあっても、粘り強く努力を続ければ必ず道は開けることを実感し、関係者の努力に感謝しております。

今年も在パース日本人学校の学習発表会を楽しみにしてきました。本日は、かつて日本人学校教員をつとめた家内も参加をさせて頂いています。5人の家族全員が、アフリカやアジアの日本人学校にお世話になった経緯があり、特別な想いでパース日本人学校を応援しております。

案内に書かれた、実行委員長と生徒会長の方のご挨拶を読ませていただきました。2学年ずつのグループで、自分たちでつくりあげる意欲に溢れていました。素晴らしいですね。みなさんひとりひとりの個性の輝きに注目をしています。保護者の皆様、学校運営委員会の皆様、そして日本人学校の先生方におかれては、すばらしい学習環境をさらに高めるため日々のご尽力とご苦労に心より感謝申し上げます。生徒のみなさん、日本人学校で育んだ、世界から日本を見る目、感受性の鋭いみなさんの洞察力で感じたことは、必ず心の中に残り芽を出します。ですので、学習発表会の今日の日を精一杯楽しみながら、心のアルバムに焼きつけて頂きたいと思います。

フードフェスティバル

学習発表会の次の日、12日に豪州総督の公邸庭園で行われたフードフェスティバルで、JSPの子ども達が、よっちょれを披露しました。ステージから感じる子ども達の生き生きとした演技は、他の国の観客までも魅了していました♪